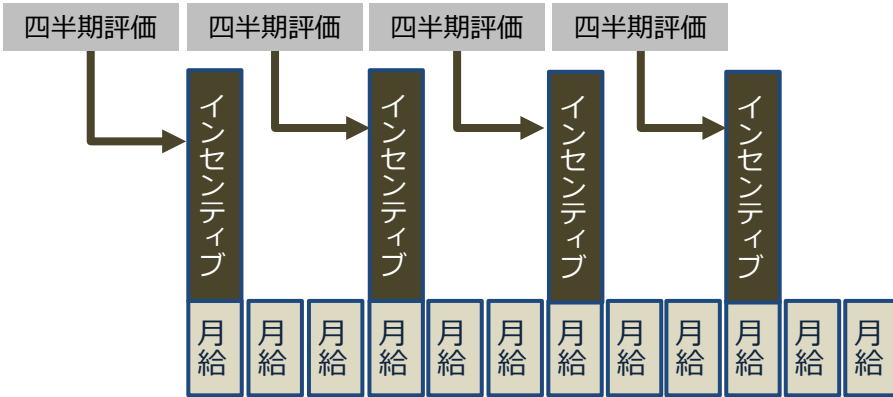




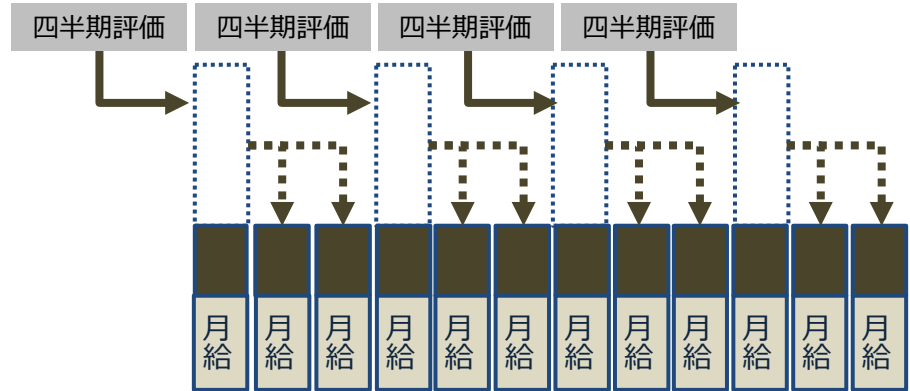
# 給与の平準化で行動促進を仕掛ける

## 時間的平準化

ラチェット効果を利用して、従業員をサボらせないための仕組みの一例



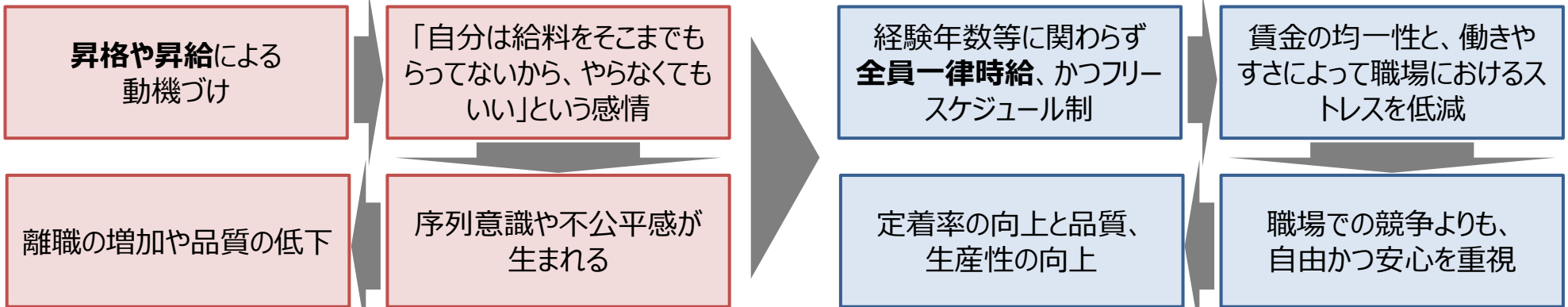
定期的にとまとまった報酬が入る仕組み  
 →インセンティブは変動所得と捉えられるため、消費性向が左右されるケースは少ない。



毎月高額な報酬が入ってくる仕組み  
 →恒常所得の水準が高まり、消費性向が上昇する。高まった消費水準を下げたくない（＝高い月給を保ちたい）と考えることを利用。

## 組織的平準化

序列化しないことで、作業にムラを出させない仕組みの一例



※同企業には、「嫌いな作業はやらなくてよいルール」など、魅力的な仕掛けが他にもあります。その一方で、下部参考URL内にもあるように、求人募集内容にて**最初に否定的な現実を示すことでアンカリング効果を働かせている**点も面白い仕掛けと考えられます。